

日本人の心の風景

初夏の候、会員の皆様にはご健勝にてご活躍のことと存じます。

母校も四月六日に第五十四回入学式が挙行され、五六七名の新入生が入学いたしました。現在では学校生活にも馴れ、太平台で勉学にスポーツに全力で邁進していることと思います。

緑の山や森のある風景を眺めているとき、日本という国の素晴らしいしさを誰もが感じるのではないか。日本は森と文

明が長い間共存してきた唯一の国であり、これは世界史の中で他に例をみないといわれています。水田が広がる平地と木々に覆われた山々、日本人にとって馴染み深い風景の中に、祖先たちが長い間育んできた自然と共存する知恵が隠されていることがあります。

日本はかつては、平地を含めて国土のほとんどが森林であり、日本の風景は何処へ行っても山は樹木に覆われています。なぜ日本の森が守られたのか、理由が四つほどあるそうです。

一つは、日本の地形は非常に険しい山と平地にはっきり分かれています。山を耕作すると土壤が流出するため、平地だけで農耕が行われたこと。

二つには、日本の農業は水稻が中心で大量の水を必要とし、

考えていました。



夏空に映える学舎

が守られてきたことは、日本の地形とそこに生活する人々（祖先）の知恵があることを知らされます。このことを知った時、何故か頭の中に

いかで忘れむもとつ教はいよみがかむもとつ心は

の校歌の一節がよぎりました。

設立五十周年記念祝賀会

本会も昨年五十周年を迎え、十月二十七日に設立五十周年記

念祝賀会を栃木サンプラザにおいて来賓・会員一七〇名の出席をえて盛大に開催することができました。これも偏に学校当局、本会役員、会員の皆様方のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

祝賀会に先立ち、國學院大學栃木学園教育センター三階レクチャーホールにおいて、五十周年記念コンサートが開催され、同窓生の古田佳子、さかはし矢波、阿瀬見貴光、太田敬子の各氏、また、峰茂樹先生にも出演いただき、更に同窓生の三枝美江子氏の司会で、花を添えていただきましたことに對し心より感謝申し上げます。

母校も今や県下有数の私学としての評価と信頼を得て発展しております。今後は厳しい時代の到来が予測されるようですが、平成二十四年度までの卒業生は三万三千人を超えたとのこと、真に心強い限りではあります。本会が五十一年目の新しい一步を踏み出すにあたり、改めて母校発展のために会員一同の力を結集して、少しでもお役に立てるよう会の運営を行ってまいりたいと思いますので、尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



会員の皆様へ

日本の風景に想う

同窓会会长 中磨輝美



発行者 大学校
國學院 栃木高等窓会
(〒328-8588)
栃木市平井町608番地
電話 0282-22-5511

第36号

設立五十周年に寄せて



仁戸部幸子
(第一期)

私は第一期生として卒業しました。第一回卒業式の翌日、昭和三十八年三月五日に卒業生一七名全員が集まり同窓会設立式が行われ、佐々木周二校長先生が初代会長に選出されました。

私は卒業後、母校の経理課に勤務することになり、同窓会の使命・運営などを考えていた時、一冊の金銭出納帳を渡され、同窓会の会計の補佐を委託されました。それが同窓会にかかる最初の仕事でした。

成人式当日、母校に挨拶に伺った時、佐々木校長先生が成人の晴れ姿を大変喜んでくださいました。そして、翌年には学校の行事として成人祝賀会が開催されることになりました。第一回の成人祝賀会は昭和四十一年一月十五日に第二期生三十八名を迎えて東館四階ホールで開催され、一期生九名も参加して後輩の成人を祝福しました。第二回目からは同窓会が主催して平成

社会のさまざまな分野でご活躍されている会員の皆様方は、母校の誇りであります。今回は八名の副会長の思いを紹介いたします。

私は第三十七期卒業生の祝賀会まで実施されました。

第一期生については成人祝賀会を行なう機会がありませんでしたので、昭和五十一年十一月二十八日に「一期生の恩師を囲む会」が生徒会館大ホールで開催され、当時の教職員十五名と一緒に生三十八名が集い十四年ぶりの再会を喜び合いました。また、第四期生が卒業三十年を記念して平成八年十一月三日に「四期生の集い」を開催しました。それを契機に「卒業三十年集いの会」が毎年開催されております。

その他、各期ごとにいろいろな催しが行われています。このようないい同窓生の集いは同窓生の絆が強められるとともに、その絆の力が母校の発展のための支援の力になると思いますので、これからも大切にしていきたいと思っています。

私は昭和三十九年の四月に入学し、三年間太平山のふもとで勉強・スポーツから人間造りを学んできました。おかげ様で現在では第一線を退き、第二の人生を送っておりますが、すばらしい学校で培った経験が現在も活かされています。これからも國學院大學栃木高校を愛し益々の发展を祈っております。

創立五十周年に際しまして、記念事業の一環として三千万円を寄贈しました。また、以下のようなことも行いました。
①平成二十一年七月、新国立劇場での「高校生のためのオペラ教室」に全校生徒を招待。
②平成二十二年十一月、「卒業生作家展」を開催。

③平成二十三年十一月、「ことばの力—歴史・宗教・文学—」と題する特別講演と座談会を行なう。後援。

私は昭和五十四年五月から現在に至るまで副会長を務めています。その間母校の発展と同窓生の相互の繋がりを大切なものと考えてきました。これからもこの二つのことを最重要課題として、同窓生の皆様の期待に応えられるよう努力する覚悟です。

最後に五十周年記念事業について、多くの方々にご協力・ご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。



田村道彦
(第四期)

私は昭和五十四年五月から現在に至るまで副会長を務めています。その間母校の発展と同窓生の相互の繋がりを大切なものと考えてきました。これからもこの二つのことを最重要課題として、同窓生の皆様の期待に応えられるよう努力する覚悟です。

最後に五十周年記念事業について、多くの方々にご協力・ご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

そしてこの度は、同窓会設立五十周年と云うことで、影山新校長の企画、立案の下で役員会を何度も重ねまして「祝賀会」を度々開催してきました。

私は昭和三十九年の四月に入学し、三年間太平山のふもとで勉強・スポーツから人間造りを学んできました。おかげ様で現在では第一線を退き、第二の人生を送っておりますが、すばらしい学校で培った経験が現在も活かされています。これからも國學院大學栃木高校を愛し益々の发展を祈っております。

私は昭和三十九年の四月に入学し、三年間太平山のふもとで勉強・スポーツから人間造りを学んできました。おかげ様で現在では第一線を退き、第二の人生を送っておりますが、すばらしい学校で培った経験が現在も活かされています。これからも國學院大學栃木高校を愛し益々の发展を祈っております。

私は昭和三十九年の四月に入学し、三年間太平山のふもとで勉強・スポーツから人間造りを学んできました。おかげ様で現在では第一線を退き、第二の人生を送っておりますが、すばらしい学校で培った経験が現在も活かされています。これからも國學院大學栃木高校を愛し益々の发展を祈っております。

私は昭和三十九年の四月に入学し、三年間太平山のふもとで勉強・スポーツから人間造りを学んできました。おかげ様で現在では第一線を退き、第二の人生を送っておりますが、すばらしい学校で培った経験が現在も活かされています。これからも國學院大學栃木高校を愛し益々の发展を祈っております。

私は昭和三十九年の四月に入学し、三年間太平山のふもとで勉強・スポーツから人間造りを学んできました。おかげ様で現在では第一線を退き、第二の人生を送っておりますが、すばらしい学校で培った経験が現在も活かされています。これからも國學院大學栃木高校を愛し益々の发展を祈っております。

最後に会員の皆様にお願いを致します。現在少子化により、中学生が減少しており、経営的にも大変な時期を迎えていると 思います。会員の皆様にもご理解いただき、より一層のご協力・ご支援をお願い申し上げると共に、これから國學院大學栃木高校の飛躍、同窓会の発展と会員の皆様方のご自愛を願い、五 周年の挨拶とさせて頂きます。



柏崎副会長 和己

(第七期)

なかつたようで、その年は、予選もなく、東京で開催された第三回全国高等学校将棋選手権大会に男子団体で出場できたことは、よい思い出になっています。さて、母校は平成二十一年に創立五十周年を迎える、昨年十月には同窓会設立五十周年の祝賀会が盛大に開催されました。節目の年に副会長として出席できましたことは、大変名誉なことで、感動致しました。今後も微力ではありますが、一所懸命、母校と同窓会の発展のため支援と協力をしていきたいと思っております。それについても、母校の発展には驚かされます。栃木駅前の教育センターで、夜遅くまで学習に取り組む生徒の様子を見ると、そうした思いの正しいことが確信できます。従来から、部活動に加え、今日では県下有数の進学校としても高く評価されています。また、同窓生も三万三千人を超えて、全国津々浦々、各界で活躍しております。多くの人材を輩出していることは周知の事実であり、栃木市政界で、また経済界・教育界に在住する卒業生の一人として誇りに思っています。母校におかれましては、今後とも「建学の精神」を大切にされ、社会に



副会長
長谷川
孝

第九期

同窓会設立五十周年おめでとうございます。平成二十四年十一月二十七日の記念祝賀会では第一期卒業生から近年の卒業生まで多くの方が集い、先輩・後輩のなつかしい方や初対面の方とお会いでき、歴史の重みを感じました。

さて、私は九期の卒業です。

十二年前に「卒業二十年の集い」、
昨年に「卒業四十年の集い」
(鬼怒川温泉で一泊二日で開催)。

そして今年二月に木村理事長先生、影山校長先生をはじめとす

る恩師の先生方にご出席をいただき、「還暦の会」を開催いたしました。取扱の展示、（スティン

しました 趣味の展示（ブテン
ドグラス・パッチワーカ・盆栽・
きめこみ人形・熱氣球等）やフ

ラダンスの発表があり、かつての学園祭を思い出し話題のつき

ない楽しい一時でした。こうして会が開催できるのも、毎年各



副會長
山縣 博司

私と同窓会との関わりは、今から三十多年前の國學院大學藝術學園の創立記念式典での大栗前会長との出会いから始まっています。当時、私は第九代生徒会長として式典に参列し、大栗前会長と式後に雑談したことが同窓会との縁となり、さらに、後の梶原同窓会元副会長との出会いがより関係を深めていきました。梶原元副会長は、生徒会長経験者だったので、特に色々指導されることも多く、繋がりは亡くなるまで続きました。こ

のお二人との出会いは、十代の私は、強烈な個性とキャラクターの持ち主だったので圧倒された印象がありました。また、年齢的にも大栗前会長とは十歳差、梶原元副会長とも六、七歳の違いがあり、威圧感と隔たりを覚えました。ところが、三十一年後、自分の二男と三男が母校に入学してから両親が活動を通して、同窓会をかたわらから観る機会を得てなんとも不思議な思いをしました。息子たちを通して観る同窓会は、まさに私が十代で感じた姿の投影でした。当時、私が感じていた以上に違和感があるようで、特に二男はクラス幹事になつて親子で役員になつたにもかかわらず実感が湧かず関心も薄いように見えました。しかし、私は「卒業三十年の集い」を主催したり、副会長として積極的に活動に参加するにつれ、十代の時に感じた同窓会への思いが変わりました。いつの間にか年齢を重ねて三十二会員となり、孫をもつ世代ともなると同窓会の誇栄を願い、この先五十五周年、六十周年と記念の年を重ねて未来永劫続くことを願わずにはいられません。そのための礎になれるよう同窓会の活動をより強く支援していきたいと思います。さらに同窓

生であり、五十周年記念事業の立役者である影山校長先生と共に、活気ある同窓会として活動できればと思っています。



廣澤造酒雄
(第十五期)
母校國學院大學栃木高等学校
副会長

同窓会設立五十周年おめでとうございます。皆様方には、日頃より同窓会活動に、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

この日を迎えたのは、同

窓会歴代会長及び会員の皆様方、

そして歴代校長を始め教職員

の先生方の一方ならぬお力添え

の賜物と思っております。同窓

生の皆様と共に、この五十年の

節目に立ち会えた事に、大いに

喜びを感じています。「たくま

しく、直く、明るく、さわやか

に」入学以来事あるごとに教え

ていただいた校訓や建学の精神

は、卒業後三十五年経った今で

も私の心に焼き付いています。

私は今、高校の父母会長として

ただいております。卒業生が毎

年母校を巣立っていく姿を見て

いますが、この伝統ある建学の

精神を身に着けた彼らは、人生

の荒波を前向きに乗り越えてい

けるものと確信しております。

卒業生の総数は三万三千名を超える、同窓会組織も発展し続けています。国内はもとより海外でも素晴らしい活躍をし、着実に成果を遂げ、社会に多大な貢献をされていることは周知通りです。母校の益々の発展と皆様方のご健勝とご活躍を御祈念申し上げます。



大澤光司
(第十七期)
母校國學院大學栃木高校の第十七期生として入学してから早三十年、卒業してから三十四年の月日が流れ、同窓会も五十周年という節目を迎えることとなりました。思い返せば、母校で過ごした高校三年間の多くの思い出が走馬灯のようによみがえります。子供も母校のお世話になり、その縁で卒業後は父母会の役員として仕事をさせていただきましたが、現在は同窓会の役員を仰せつかっております。

同窓会の役員として、どのく

らいお役に立てているか不安で

ますが、これからも会長を補佐し、

高等学校同窓会の発展のため

に尽くして参る所存ですでので、

会員の皆様にはご指導、ご鞭撻

よろしくお願ひいたします。

平成二十五年三月をもって退職なされた三名の先生方に、母校での教師生活を終えた想いを語って頂きました。
~~~~~  
先生方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



**吉澤隆雄**  
地歴公民科  
坊主頭の十五歳で國學院大學  
栃木高等学校に入学し、白髪頭  
になるまでの國學院一筋の生活を  
無事終えることができました。

本校卒業後、大学に進み四年

間栃木を離れましたが、陸上競

技をやっていましたので、後輩

の指導のために合宿という合宿

にとっては、ほとんど事実上の

五十年間だったといえると思いま

す。心から母校に対して感謝

の気持ちでいっぱいです。

私の教員生活を振り返ること

になりますが、思い出としては、

大きく分けて二つあります。

一つは、陸上競技部の顧問を

やらせていただいたことで、部

活動についての思い出。もう一

つは、担任としてのホームル

ーム活動はもちろん、その一環で

あった「文化祭」「体育祭」で

の思い出です。退職する一ヶ月

## 今、想い新たに

すことができました。

陸上競技での思い出は数えきれないほどあります。その中で何といっても忘れられないことは、二十三期生の早乙女等君が社会人(NEC所属)となつてからですが、福岡国際マラソン三位の実績が認められ、ドイツで行われた世界陸上のマラソンの日本代表として出場が決まり、その応援に行けたことです。教え子が日の丸を胸に付けてドイツのシュツットガルトの街を先頭集団で走っていた姿は、今でも鮮明に私の脳裏に焼きついでいます。残念ながら入賞はできませんでしたが、私が素晴らしい思い出をプレゼントしてくられたことに感謝しています。

次に、担任としての思い出も「國學院祭」を中心にして多くあります。まずは体育祭では国柄リレー・太平台リレーでの優勝、担任送りでは派手な衣装を身に着けさせられ、そりに乗り、グランドを恥じらいもなく生徒に引っ張られたことも最近の出来事のように思い出されます。さらに、体育祭の目玉でもあった仮装行列でも「チャールズ王子とダイアナ妃の結婚パレード」で最優勝を獲得了、「熱闘プロ野球」でも努力賞を頂くことができました。

すことができました。

陸上競技での思い出は数えきれないほどあります。その中で何といっても忘れられないことは、二十三期生の早乙女等君が社会人(NEC所属)となつてからですが、福岡国際マラソン三位の実績が認められ、ドイツで行われた世界陸上のマラソンの日本代表として出場が決まり、その応援に行けたことです。教え子が日の丸を胸に付けてドイツのシュツットガルトの街を先頭集団で走っていた姿は、今でも鮮明に私の脳裏に焼きついでいます。残念ながら入賞はできませんでしたが、私が素晴らしい思い出をプレゼントしてくられたことに感謝しています。

次に、担任としての思い出も「國學院祭」を中心にして多くあります。まずは体育祭では国柄リレー・太平台リレーでの優勝、担任送りでは派手な衣装を身に着けさせられ、そりに乗り、グランドを恥じらいもなく生徒に引っ張られたことも最近の出来事のように思い出されます。さらに、体育祭の目玉でもあった仮装行列でも「チャールズ王子とダイアナ妃の結婚パレード」で最優勝を獲得了、「熱闘プロ野球」でも努力賞を頂くことができました。

どれも生徒たちと苦労した良い思い出です。その中で「チャーレード」を作成した二十一期生から「卒業三十年の集い」が今年の十月に実施されるとの連絡が入り、三十年ぶりに再会することになりますので、今から楽しみにしています。

文化祭も沢山の思い出があります。その代表作が「國學院なんでも百科事典」「栄光の部活動」クイズ形式で「知つてたつもり」などがあります。最近の「國學院祭」では見ることができない力作と自分でも自画自賛しています。もっとももと文化祭について書きたいことがあります。ですが、長くなってしまうのでこのへんにしたいと思います。

最後に、自分にとつても五十年間にわたり、お世話になつた母校である國學院栃木の益々の発展を祈願することはもちろんですが、現在、進学についても、部活動、そして生徒指導においても曲がり角にさしかかっているような気がしてなりません。校長先生を中心に教職員が一丸となれる環境をさらに整えていただき、より一層前進させ、國學院栃木高校がさらなるレベルアップしてくれることを心からお祈りをしてペンを置きたいと



糸川 澄夫  
先生

黒川 澄夫 先生

地歴公民科

期することがあり、今年三月三十一日付を以って國學院大學栃木高校を退職しました。大学院を卒業すると同時に東京の私立女子高校で四年間、國學院大學栃木高校で三十四年間の計三十八年間の教師人生に幕を降ろした訳ですが、今振り返ればよく三十八年間教壇に立つことができたものと我ながら驚いています。その間、辛いこと、悲しいこと、淋しいこと、楽しいことが多々ありましたが、「教師」として生徒たちと関わりを持てたことが、何よりも幸福であったとつくづく思っています。瞼を閉じれば、走馬灯の如く思い出が込み上げてきます。

私の教師としての原点は、石川県片山津温泉で開かれた第四回「教授学研究の会」の全国大会にあります。教育の理想に燃え赴任した東京の私立女子高校での四年間は、教育以前の問題に追われる毎日で、自分が教師であることすら忘れることもしばしばあり、教育の無力さを思い知らされました。何度も教師をリタイアしたいと考えたことがありました。

若さだけでかろうじて乗り切つていたように思います。そんな時、私に「教育とは何か」「教師の仕事とは何か」を教え導いてくれたのが藤原喜博先生であり、「教授学研究の会」でした。藁をも掴む思いで参加しましたが、目からウロコが落ち、身震いを何回も体験させられた三日間でした。以後の私の教師としての歩むべき道を示唆してくれました。

会の方針のもとに、何週間もかけて一つの作品を作り上げ、見物客を圧倒すると共に、ホンモノの感動を多くの生徒たちが体験したものです。ホンモノの感動を体験した生徒は必ず変わり、学習指向も生まれることを多くの方が信じ実践していました。ホンモノの感動は、通り一片の指導では生まれない。より困難な課題を与え、集団で取り組ませて初めて得られるものだからです。感動の数と比例して「生命力」も強くなる。学校行事やホームルーム活動や部活動は、生徒たちにホンモノの感動を与える格好の場です。私が文化祭で展示の大作に挑戦してきたのはそのためなのです。（勉強のために「構成詩」に三年間挑戦したこともありましたが）卵の殻一万数千個を使って「モザイクアート」や「貼り絵」「切り絵」「版画」「錦絵」「刻字」など開拓してきたのも忘れられません。ベニヤ板一枚を一場面として計八場面を作るのが原則でしたから、生徒たちはおそらく逃げ出したかっただろうと思います。しかし準備途中で何度も起こった生徒同士の葛藤も、私と生徒たちとのバトルも集団の力を向上させる一因になつたことは間違ひありません。生徒

たちは見事に完成させ、多くのことを学び卒業してきました。私は、今でも卒業生たちに会うと「チョモ先生元気ですか」と言われる。そうあだ名が「チョモ先生」だったからです。おそらく機会あるごとに「チョモランマを目指せ」と語っていたからだと思います。三十四年間に十五回クラス担任になり、うち十二回卒業生を世に送り出しているが、彼らは「チョモ先生」と言えば私だとすぐわかります。

その卒業生たちもいろいろな場で活躍しています。卒業生の活躍を耳にするたびに、担任冥利に尽きるな、教師でいられて本当に良かったなどつくづく思っています。

最初の卒業生は普通科二十期生でもう四十九歳になります。私も老けるはずだと実感しています。教育の成果は、二十年・三十年後に花開くものです。祖先の結果にとらわれることなく将来を見据えての教育実践であつたか聊か心もとないところがありますが、卒業生たちがいろいろな所で花を開かせつあるので安堵しています。私の考えは間違つていなかつたと胸を熱くすると共に、卒業生たちのこれから活躍に心よりエールを送りたいと思います。



**古庄 史和  
先生**

保健体育科

母校での教員生活はとても充実していました。生徒とともに成長できた八年間、これからも続く教員生活の土台を作ることができました。

①生徒と向き合うこと

生徒の可能性は教員の考えはるかに超えていく。自分の考えを押しつけるのではなく、社会の価値観やルールを教えていくことの大切さ。いかに自分の考え方や価値観を広げていけるか、毎日問われ続けていた気がします。

②全体に目を配ること

一人ひとりを見過ぎると、周りが見えなくなる。教室全体の様子が把握できこそ、個々の指導ができる。クラス四十人を見るのが担任の仕事。クラス全体の雰囲気が良くなれば、生徒の積極性が出てくるもの。文化祭や体育祭、マラソン大会に校内競技大会、どれも充実したものにしようと必死でした。

これらのこととはラグビー部でも同じでした。個々のモチベーションと全体のマネージメント、選手一人ひとりを伸ばすことと

チームの結果を出すことの両立。目前にかける情熱と客観的に見る冷静さの必要性。少しは貢献できるようになっていたと負しています。

今年の四月から職場を移し、新たな教員生活をスタートさせました。正直、上手くいかないことが多く、自分がいかに周りの先生方や生徒に助けられてい



## 同窓会設立 五十周年を迎える

(土)、同窓会設立五十周年記念祝賀会が栃木サンプラザにて盛大に開催された。当日の出席者は二七一名で、昔話に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごすこ

とができた。

母校から木村好成理事長、影山博中学校長・高等学校長、中信中学副校長、中山富夫教頭、小行副教頭、青木一男副教頭、小藤清事務局長、石塚透前副校長、古口敏夫前教頭らを来賓に迎え、田村道彦同窓会副会長の開会の辞から始まり、次いで同窓会長の中磨輝美氏の挨拶、木村好成理事長祝辞、影山博学校長祝辞、感謝状贈呈、民謡歌手の古田佳子氏(二十五期生)による奉祝演奏、柏崎和己同窓会副会長の音頭で乾杯、歓談となつた。

(土)、二十期生の「卒業三十一年集いの会」が栃木サンプラザにおいて開催された。

母校から影山博学校長、中

山富夫教頭、青木一男副教頭や恩師をお招きし、百八十余名の同期生が一堂に会した。会はインターハイ走幅跳びで優勝した本橋功一副実行委員長による開会の辞で幕を開

け、近藤秀人実行委員長挨拶、

治氏(七期生)を中心としたグループによる「太平山神社隨神福太鼓」の演奏も披露された。

また、祝賀会に先立ち、現在音楽分野で活躍されている卒業生(さかはし矢波・古田佳子・太田敬子・阿瀬見貴光の各氏)と峰茂樹教諭との五十周年記念コンサートが、三枝美江子氏(三十四期生)の司会のもと、学園教育センターにて開催された。



## 第20期生 集いの会

(土)、二十期生の「卒業三十一年集いの会」が栃木サンプラザにおいて開催された。

来賓を代表して影山博学校長・中磨輝美同窓会会长の挨拶と続き、大関康男幹事長の音頭で乾杯した。

恩師への記念品の贈呈の後、全員で声高らかに校歌を合唱、安形利春氏による手締めの後、堀口哲男副幹事長の閉会の辞をもって会は終了した。

太平台で苦楽を共にした級友や恩師との三十年ぶりの再会は、非常に感慨深いものが、近況の報告や高校時代に想いを馳せながら会場には笑顔に満ち溢れていた。



平成二十四年度全国高等学校総合体育大会が新潟・富山・石川・福井・長野県内各地で七月二十八日から八月二十日にかけて実施された。

本校男子柔道部は、横山堯世選手が100kg超級で、春の選抜大会に続き、全国制覇を果たし、二冠を達成した。90kg級では、田村優輝選手が全国第三位に輝いた。男子団体戦でも全国第三位という好成績を残した。

陸上競技部女子では、畠澤桃香選手・皆川光希選手・沼沢美季選手・中野玲奈選手が、4×100mリレーで、県記録を0秒23

位という好成績を残した。

横山選手は、春夏連続全国制覇の功績が認められ、国際大会の出場が決まった。

本校男子柔道部は、横山堯世選手が100kg超級で、春の選抜大会に続き、全国制覇を果たし、二冠を達成した。90kg級では、田村優輝選手が全国第三位に輝いた。男子団体戦でも全国第三位という好成績を残した。

## 全国高校総体 柔道男子個人 二位 優勝 陸上競技女子リレー

更新する、  
46秒40で全  
国第二位に  
輝いた。

その他の  
結果は、薙  
刀部が団体  
戦でベスト  
16、女子バ  
レー部が二  
回戦進出。



## 国際大会 優勝

男子ハンドボール・男子卓球が初戦敗退となつた。

本校男子柔道部は、横山堯世選手が100kg超級で、春の選抜大会に続き、全国制覇を果たし、二冠を達成した。90kg級では、田村優輝選手が全国第三位に輝いた。男子団体戦でも全国第三位という好成績を残した。

横山選手は、春夏連続全国制覇の功績が認められ、国際大会の出場が決まった。

陸上競技部女子では、畠澤桃香選手・皆川光希選手・沼沢美季選手・中野玲奈選手が、4×100mリレーで、県記録を0秒23

## 平成25年度大学入試結果

| 大学名      | 人数 |
|----------|----|
| 国公立大学    |    |
| 東北大      | 2  |
| 北海道大     | 1  |
| お茶の水女子大  | 1  |
| 筑波大      | 3  |
| 埼玉大      | 4  |
| 千葉大      | 2  |
| 東京学芸大    | 1  |
| 横浜国大     | 1  |
| 茨城大      | 4  |
| 宇都宮大     | 8  |
| 群馬大      | 6  |
| 新潟大      | 4  |
| 信州大      | 1  |
| 秋田大      | 1  |
| 帯広畜産大    | 1  |
| 北見工業大    | 2  |
| 静岡大      | 1  |
| 福島大      | 2  |
| 室蘭工業大    | 1  |
| 山形大      | 3  |
| 琉球大      | 1  |
| 福島県立医科大学 | 1  |
| 高崎経済大    | 7  |
| 都留文科大    | 2  |
| 前橋工科大    | 2  |
| 群馬県立女子大  | 2  |
| 青森公立大    | 2  |
| 秋田県立大    | 1  |
| 岩手県立大    | 1  |
| 釧路公立大    | 6  |
| 島根県立大    | 1  |
| 富山県立大    | 1  |
| 兵庫県立大    | 2  |
| 福井県立大    | 2  |
| 名桜大      | 3  |
| 防衛大学校    | 11 |
| 国立看護大学校  | 1  |
| 国公立大学計   | 95 |

| 大学名     | 人数  |
|---------|-----|
| 私立大学    |     |
| 國學院大學   | 157 |
| 慶應義塾大   | 4   |
| 上智大     | 3   |
| 東京理科大   | 3   |
| 早稻田大    | 2   |
| 青山学院大   | 5   |
| 学習院大    | 4   |
| 中央大     | 7   |
| 法政大     | 4   |
| 明治大     | 9   |
| 立教大     | 1   |
| 成蹊大     | 3   |
| 成城大     | 1   |
| 立命館大    | 2   |
| 駒澤大     | 7   |
| 専修大     | 4   |
| 東洋大     | 12  |
| 獨協大     | 4   |
| 日本大     | 20  |
| 武藏大     | 2   |
| 明治学院大   | 5   |
| 北里大     | 7   |
| 国際医療福祉大 | 13  |
| 埼玉医科大   | 1   |
| 自治医科大   | 2   |
| 芝浦工業大   | 3   |
| 昭和大     | 1   |
| 昭和薬科大   | 1   |
| 東京医科大   | 1   |
| 東京女子大   | 1   |
| 東京薬科大   | 2   |
| 東邦大     | 1   |
| 獨協医科大   | 7   |
| 明治薬科大   | 2   |
| 岩手医科大   | 4   |
| その他私立大学 | 288 |
| 私立大学計   | 593 |
| 4年制大学計  | 688 |

道にも屈することなく勝ち進んだ。一回戦はフランスの選手に内股で一本、準決勝はフランスの選手に大外刈で一本、決勝はブラジルの選手に払腰で一本と、予選からオール一本勝ちで優勝を決めた。ちなみに両選手とも國柄中出身である。

の、後半戦に逆転を許し13—27と惜敗した。

決定戦では、愛媛選抜との試合で、前半戦を接戦で折り返し、後半戦8分に細田悠平選手10分に西松大輝選手が立て続けにトライを奪い、勝負を決めた。

平成二十五年度関東高等学校ハンドボール大会が六月一日・二日母校体育館において開催された。一回戦では、藤森裕介選手のけがで急きよ起用された一年の木村駿治選手が活躍し都立東大和高校東京に26—18で勝利した。二回戦は、主将の高山一回戦は北海道選抜に27—19で勝利した。二回戦は、優勝した大阪選抜との試合で、前半戦を互角の内容で折り返したもの

## ラグビー部 第五位 ぎふ清流国体

平成二十四年十月五日(金)～

九日(火)関市グリーン・フィールド中池で開催された大会で全國第五位に輝いた。

平成二十四年十二月十一日(火)～二十一日(金)の日程で、フランスで開催された国際大会に、男子柔道部の横山堯世選手が参加した。日本代表として臨んだクリスマス杯エクサンプロヴァンスジュニア国際大会では、

東大和高校東京に26—18で勝利した。二回戦は、主将の高山一回戦は北海道選抜に27—19で勝利した。二回戦は、優勝した大阪選抜との試合で、前半戦を互角の内容で折り返したもの

大会を終えた。

私立大学においても難関校である慶應義塾大学に四名、早稲田大学に二名、上智大学に三名などの合格者をはじめ、GMA RCH・東京理科大学や、中堅の日東駒専にも多数の生徒が合格した。

本校第五十一期生は、北海道大学、東北大学、新潟大学医学部医学科、お茶の水女子大学をはじめとして、筑波大学に三名、埼玉大学に四名、宇都宮大学に八名、群馬大学に六名、茨城大学に四名合格するなど、地元隣の国公立大学にも多数合格した。

**進学状況**  
**現役合格率 93.7%**  
**%**

# 國 栃 中 ニ ュ ー ス

## 学力の向上

昨年度より、第一・三・五土曜日は通常授業を行い、授業内容の充実を図っている。一人ひとりの学習状況に合わせて一年次より習熟度別授業や放課後の課外を行うなど、学力の向上を図っている。さらにサマースクールや長期休暇特別講座を実施し、標準時間数より多くの学習時間を確保している。

また、今年度から国語の力を養おうと新聞のコラム筆写を行い、速読や単語の意味、要点をまとめる力も養っている。

## 人間力の向上

本校では、さまざまな行事を通して、生徒の人間力の向上に努めている。六月に赤城、那須自然体験学習や学年の枠を超えて対戦するスポーツエスティバル。夏期長期休暇から学年一体で取り組む國學院祭。日光・鎌倉・奈良を訪ねる十一月の校外学習。二週間一人でホームステイを行う三年次のオーストラリア語学研修などさまざまな行事が用意されている。



また、この他にも茶道・華道の特別講座や芸術鑑賞で古典芸能に触れることで日本文化の理解を深め、近年のグローバル化に対応するべく、バランスのとれた国際感覚を養うための行事も催されている。

## 法教育

日本で裁判員制度がスタートした翌年の平成二十一年度より、三年生を対象に法教育が行われている。宇都宮地方検察庁に生徒が出向き、検察庁の職員から直接裁判員制度について学ぶものである。また、隣接の裁判所も見学する。

今年度からは、法教育のさらなる充実を図り、國學院大學法科大学院と連携し、今井秀智弁

士が出席し、茶席による実習を行っている。今年度は全学年とも年間五回実施する予定である。

## 國學院大學栃木短期大學連携授業

三年生を対象に一学期一回、二学期二回、高等教育の専門的

な分野の授業を受けて、幅広く高いレベルの学習へ興味関心を持たせるべく、年間三回実施されている。昨年度は一回目が杉浦左知教授による「源氏物語を中心とした絵巻物について」。二回目は石山育朗教授による「咀嚼の影響について」。三回目は酒寄雅志教授による「平城京と大仏について」の講義を受講した。

護士による研修を行うことになった。全四回にわたる研修の最終回では校内で模擬裁判を実施する。これにより生徒は、検察側・弁護側の双方からの指導を受けられることになる。

## 【茶道教室】

総合学習や道徳の時間に茶道教室を実施している。日本の伝統文化である茶道を通して日本人の礼法を身に付け、道徳的実践力を育成することを目的としている。母校の相千恵子先生による茶道の歴史や作法の講義を受けた後、裏千家直門澤田宗翠先生を講師に迎え、茶席による実習を行っている。今年度は全学年とも年間五回実施する予定である。

全国中学校柔道大会にて女子個人48kg級に出場した大竹亜実選手が第三位、男子個人90kg級に出場した新井輝選手が敢闘賞を受賞した。また、関東中学校



## 安心・安全

本校では、生徒が毎日提出する日誌に對して、クラス担任が丁寧なコメントを書き、一人ひとりの学習・生活状況を把握している。

また、各学年の教員から学校の様子が保護者に伝わるように、学年通信を月に数回発行している。さらに登下校の時間や緊急連絡を保護者にメール配信している。

また、各学年の教員から学校の様子が保護者に伝わるように、学年通信を月に数回発行している。さらに登下校の時間や緊急連絡を保護者にメール配信している。

柔道大会では男子が準優勝、女子が第三位と日頃の練習の成果を發揮した。男女とも今後の活躍が期待できる。

## 成人式



平成二十五年一月十日(日)栃木市栃木文化会館で成人式が挙行され、中学校第十期生四十一名の新成人が出席をした。また、三年当時の担任である佐々木・鈴木両教諭も参列された。各中学校代表が堂々と新成人としての意気込みを発表し、本校代表の小林享嗣君は「同じ学舎で学んだこの経験を活かし、今後は地元に貢献したい」と立派な挨拶を述べた。当日は久しぶりに再会した級友と最後まで話題が尽きなかつたようである。

## 後輩たちのため

現在各分野で活躍中の会員三名が、講演会やコンサートと  
いう形で後輩たちの前に立った。それぞれが後輩への思いを  
込めて、あるいは語り、あるいは音楽を奏でた。その姿に母  
校在校生たちも胸を打たれ、日々の学校生活への意欲を新た  
にしたようであった。

### 創立五十一周年記念講演

「脳」とことば  
～日本語はなぜ美しいのか～

黒川伊保子氏  
(第十六期)



などにも携わっている他、テレビにも出演している。また『日本語はなぜ美しいのか』(集英社新書)、『怪獣の名はなぜガギグゲゴなのか』(新潮新書)など多数の著書があり、大いに活躍している。

「私は三十五年ほど前にここを卒業しました。懐かしい学舎です。」と感慨深げに述べた後、自身の「語感」の研究について語った。

「私はもともと物理学を専攻していました。その後就職してから人工知能の研究をし、そこでコンピュータに日本語を理解させていたのです。それで言語学についてもいろいろ勉強しました。」

平成二十四年十月五日(金)、母校創立四十周年記念館において、普通科第十六期卒業の黒川伊保子氏が、創立五十一周年記念講演を行った。

黒川氏は「株式会社感性リサーチ」代表取締役社長。感性アナリストとして商品のネーミング

レーで活躍すると思うか?」と  
いう問い合わせの答えとして、「実は  
人間には、名前の音から受ける  
イメージによる期待感というも  
のがあるのです。『スズキシュー  
ンスケ』という音を発音すると  
き、舌先と喉を交互に風が抜け  
ていくので俊敏なイメージを与  
えるんです。」と説明した。そ

の他多くの例を挙げて、言葉から受けるイメージについて述べた。

最後に、「日本語は、合理性と情の回路を両方使うことで生きる言語です。このうなずべき日本語を誇りに思って、世界に進出していてください。」  
という言葉で締めくくった。

### 一類教養講座

「自分を信じて  
自分らしく生きる」

若林享子氏  
(第十八期)

「私はもともと物理学を専攻していました。その後就職してから人工知能の研究をし、そこでコンピュータに日本語を理解させていたのです。それで言語学についてもいろいろ勉強しました。」  
と、物理学と言語という、一見まったく関係のないジャンルをつなぐことになった経緯について述べた。

冒頭に生徒に向けて投げかけられた「スズキシュンスケ君と、ゴウトクジマナブ君のどちらがり



東京フィルハーモニー交響楽団メンバーによるフルートコンサート

さかはし矢波氏  
(第十八期)



音楽科客員教授を務めている。  
昨年から行われるようになつたこのコンサート。さかはし氏の演奏を聴くために関西地方からも来場者があるほど人気を博している。今年度はモーツアルトの「フルート四重奏曲第1番ニ長調K285」をはじめとする全九曲を披露し、美しい音色で聴衆を魅了していた。



平成二十五年六月一日(土)  
栃木駅前の学園教育センターにおいて、普通科十八期卒業のさかはし矢波氏によるフルートコンサートが開催された。  
さかはし氏は現在、東京フィルハーモニー交響楽団フルート奏者、及び台湾の聖徳基督学院大学に入学し直して苦労しながらも福祉の勉強をした自身の体験について語った後、デンマークの教育を視察したときの画像などを見せながら、福祉、教育の重要性を語った。また、「一度きりの人生を悔いのないよう、やりたいと思ったことを自分を信じて挑戦してください。」と後輩たちに向けて熱く語っていた。

# 会員だより

三万人をこえる卒業生が社会の様々な分野で活躍しています。今回の「会員だより」では、教育実習で母校の教壇に立った三名の方に、大学で研究していることや実習生として母校に戻ってきたこの印象や想い、在学時の思い出について書いて頂きました。



橋本帆菜  
(第四十八期)

する日本語教育についても学び、国際人として自国の言語と文化についてよく学ぶ必要性を感じています。

今回三週間、母校で教育実習をさせていただきました。教育実習生として母校に通うと、生徒として通っていたときには見えなかつたものが多く見えるようになりました。特に私が驚いたことは、先生方の仕事量の多さです。授業の他にも本当に多くの校務をこなされている先生の方の姿を実習生として間近で見させていただき、「先生はすご

私は現在、國學院大學で日本語学を専攻しています。今まで特に意識せずに使っていた日本語を意識化して、体系的に学ぶことによって日本語の持つ面白さ・奥深さを感じ、日本語の持つ魅力にますます目が開かれる

様々な分野で活躍しています。美習で母校の教壇に立った三名や実習生として母校に戻ってきて、について書いて頂きました。

とを、これからのお進路に活かしていきたいです。

「礼儀」を身に付けることが出来ました。部活動に限らず学校生活でも同じことが言えます。高校時代、先生方や先輩達のご指導を素直に受け入れられなかつたこともあります。たつたが、先生方・先輩方がご指導して下さったこ

元」を持つはずである」という理論があります。一見ありますな  
いと思うかもしれません、私たちの目では認識できないだけ  
で、余剩次元が存在する可能性は大きいにあると考えられます。  
綱渡りの綱を例に挙げてみましょ



大塚加菜  
(第四十八期)

めにはこんなにも教材研究が必要で、こんなにも沢山の準備が必要なのだとすることが分かり、生徒として通っていたときには受けるだけでも分からなかつた先生方の授業に対するご苦労も少しではありますがあくまで実感しました。

卒業をして三年以上が過ぎ、教育実習で母校に戻って来るとが出来ました。この三年の間に「学校の雰囲気はどう変わったのだろう。」「先生方は、私のことを覚えていて下さるだろうか。」「生徒達と上手く関われるだろうか。」たくさんの不安を胸に初日を迎えた。しかし私の不安は、始まってすぐに解消されました。「温かく指導してくれる先生方」「笑顔の絶えない教室」私が過ごした三

「礼儀」を身に付けることが出来ました。部活動に限らず学校生活でも同じことが言えます。高校時代、先生方や先輩達のご指導を素直に受け入れられなかつたこともありました。が、先生方・先輩方がご指導して下さったことは、社会に出ようとしている今、とても大切なことなのだと感じました。そして、高校時代辛いことも楽しいことも一緒に過ごした友達・仲間は、一生の「宝物」です。素晴らしいことを教えて頂いたと、とても感謝しています。

元）を持つはずである」といふ理論があります。一見ありえないとと思うかもしませんが、私たちの目では認識できないだけで、余剰次元が存在する可能性は大きいにあると考えられます。綱渡りの綱を例に挙げてみましょう。綱は長さがあつても私たちにとっては幅が狭いため、長さの方向にしか移動することができます。つまり一次元空間として認識されます。しかし、綱の太さに対し十分に小さな蟻にとっては、綱の上には横にても縦にも移動することのできる二次元空間であると言えます。このように、私たちの見えないところで次元が存在するかもしけないのです。



坂元祐子  
(第四十八期)

年間と変わらない風景がそこに  
はありました。

これからは、教えて頂いたことを自分が教壇という名のセンター コートに立ち、生徒達に伝えていきたいと思います。

うことも多かったのですが、そのような中でも生徒の笑顔を見ると、いつもエネルギーがもらえました。このような私のことも「先生」と呼んで慕ってくれるクラスの生徒たちに励まされることが多くかったです。

私は高校時代バレーボール部に所属し、毎日厳しい練習に励んでいました。「春高バレーに出席し、センターコートで戦いたい。」という夢を叶えるために、國學院大學柄木高校への入学を決意したからです。しかし、その夢は叶えることは出来ませんでした。夢をかなえることはありました。

私たちの暮らしているこの世界は次元ですか？多くの人は縦・横・高さの三次元空間と答えるでしょう。確かに、この世界は三次元空間であるとされています。しかし、それは本当なのでしょうか。

私の所属する研究室では余剩次元を実験的に探す研究を行っています。四年生から研究室に配属され、毎日充実した時間を過ごしています。現在は主に基礎実験を通して、装置の操作法や実験時の思考法などを学び卒業研究に向けて準備をしています。大学院に進学した後に参加する予定のプロジェクトは、海外の施設で実験を行っており、

今回母校で実習をさせていた  
だき感じたことは、恩師のあり  
がたみです。実習生として帰っ  
てきた私のことをいつも気にか  
けてください、アドバイスも多  
くしてくださったことに本当に  
感謝しています。

私は高校時代バレーボール部に所属し、毎日厳しい練習に励んでいました。「春高バレーに出席し、センター コートで戦いたい。」という夢を叶えるために、國學院大學 柏木高校への入学を決意したからです。しかし、その夢は叶えることは出来ませんでした。夢をかなえることは出来ませんでしたが、たくさんのものを手にすることが出来ました。社会に出る時必要な「コミュニケーション力」「協調性」

私たちの暮らしているこの世界は何次元ですか？多くの人は縦・横・高さの三次元空間と答えるでしょう。確かに、この世界は三次元空間であるとされています。しかし、それは本当なのでしょうか。

「宇宙創成から現在の宇宙になるまでのつじつまを合わせるために、この世界は三次元ではなくそれ以上の次元（余剰次

私の所属する研究室では余剩次元を実験的に探す研究を行っています。四年生から研究室に配属され、毎日充実した時間を過ごしています。現在は主に基盤実験を通して、装置の操作法や実験時の思考法などを学び卒業研究に向けて準備をしていきます。大学院に進学した後に参加する予定のプロジェクトは、海外の施設で実験を行っており、今年は四年生ながらその実験に参加することになりました。

新たなチャレンジに向けてがんばっていきたいと思います。



会は中曇輝美会長挨拶、影山博学校長挨拶、出席者紹介に続き議事に入った。議事は平成二十四年度事業報告に始まり、決算及び会計監査報告並びに収支予算案の順で審議され承認された。

最後に、第二十一期生の「卒業三十年集いの会」の開催についての報告があり、会は滞りなく終了した。

## 平成二十一年度の 同窓会幹事会（総会）

会費納入者芳名

2020 2020 2020 2019 1919 1818 1717 1717 1616 1616 1515 1413 1313 1010 1010 9 9 8 8 7 6 5 5 5 4 3 3 1 十 1815 10十 1919 1811 6 4 方 2020 2020  
青高加加中遠加渡金渡石松須吉細大藤野新飯酒石荒生小立奈新小兼小若福門石小齋月須福野惟星野藤鈴中田丹梅閑石太和小新  
山野藤藤子邊川田藤田内熊井村井田川澤古石良井川村原松井川谷藤館田寺田名下沢口澤木野谷  
裕記登山佐部澤ひ野け美ミ森  
美美康雄代修公庸安和明孝昭敷代広邦次佳忠智守一幸公豊惠圭る隆圭い守政清代幸佳サ孟  
根子之優幸子司剛靖子紀幸実秀肇広子子夫郎子子由子保彰夫子康明子子子茂裕子子男文清二子男雄子士光静育寧龍由則  
光彰子男倫二美子憲  
中谷町新村田田村目眞嗣洋朋伊郎子子

## 平成24年度同窓会一般会計収支決算

## 平成25年度 同窓会一般会計収支予算

| 項 目         |               | 決 算 額      | 予 算 額      | 比較増△減額  | 備 考              |
|-------------|---------------|------------|------------|---------|------------------|
| 前 年 度 繰 越 金 |               | 709,216    | 709,216    | 0       |                  |
| 会 費         | 入会金（本年度卒業生）   | 1,062,000  | 1,040,000  | 22,000  | 2,000×531名       |
|             | 30年会費（本年度卒業生） | 13,275,000 | 13,000,000 | 275,000 | 25,000×531名      |
|             | 30年会費（既卒者）    | 1,300,000  | 1,000,000  | 300,000 | 20,000× 65名      |
|             | 年会費（既卒者）      | 170,000    | 100,000    | 70,000  | 2,000× 85名（延べ人数） |
| 基金会计より繰り入れ  |               | 5,500,000  | 5,500,000  | 0       |                  |
| 雑 収 入       |               | 25,821     | 784        | 25,037  | 銀行利子・祝賀会残金       |
| 合 計         |               | 22,042,037 | 21,350,000 | 692,037 |                  |

| 項 目         |               | 予 算 額      | 前 年 度 預 算 額 | 比較増△減額      | 備 考         |
|-------------|---------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 前 年 度 繰 越 金 |               | 1,719,455  | 709,216     |             |             |
| 会 費         | 入会金（本年度卒業生）   | 800,000    | 1,040,000   | △ 240,000   | 2,000×400名  |
|             | 30年会費（本年度卒業生） | 10,000,000 | 13,000,000  | △ 3,000,000 | 25,000×400名 |
|             | 30年会費（既卒者）    | 1,000,000  | 1,000,000   | 0           | 20,000× 50名 |
|             | 年会費（既卒者）      | 100,000    | 100,000     | 0           | 2,000× 50名  |
| 基金会計より繰り入れ  |               | 0          | 5,500,000   | △ 5,500,000 |             |
| 雑 収 入       |               | 545        | 784         | △ 239       | 銀行利子他       |
| 合 計         |               | 13,620,000 | 21,350,000  |             |             |

| 項目           |              | 決算額        | 予算額        | 比較増△減額    | 備考              |
|--------------|--------------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 運営費          | 印刷費          | 71,500     | 100,000    | △ 28,500  |                 |
|              | 通信運搬費        | 1,988,065  | 2,500,000  | △ 511,935 | 会報発送・振込料等       |
|              | 機器備品費        | 316,320    | 300,000    | 16,320    | 保管庫・プリンター修理     |
|              | 消耗品費         | 551,002    | 100,000    | 451,002   | 封筒・ポスター他        |
| 会議費          |              | 450,860    | 300,000    | 150,860   | 幹事会・本部役員会       |
| 事業費<br>(1)   | 会報出版費        | 756,000    | 1,200,000  | △ 444,000 |                 |
|              | 名簿作成費        | 0          | 150,000    | △ 150,000 |                 |
| 事業費<br>(2)   | 学園助成費        | 3,000,000  | 3,000,000  | 0         |                 |
|              | 30年集いの会助成費   | 350,000    | 350,000    | 0         |                 |
|              | 梅津杯助成費       | 0          | 300,000    | △ 300,000 |                 |
|              | クラス会助成費      | 240,000    | 300,000    | △ 60,000  | 10,000×24 クラス   |
|              | 補助費          | 806,548    | 800,000    | 6,548     | 文化祭・コンサート他      |
| 記念品費         |              | 2,295,395  | 2,500,000  | △ 204,605 | 卒業生・退職者記念品他     |
| 涉外費          | 涉外費          | 295,515    | 300,000    | △ 4,485   | なまず後援会他         |
|              | 広告費          | 433,200    | 200,000    | 233,200   | ラグビー・ケーブルTV CM他 |
| 福利厚生費        |              | 177,799    | 200,000    | △ 22,201  | 退職者慰労会他         |
| 慶弔費          | 弔慰金          | 92,250     | 100,000    | △ 7,750   |                 |
|              | 見舞金          | 0          | 20,000     | △ 20,000  |                 |
|              | 通信費          | 0          | 5,000      | △ 5,000   |                 |
| 積立金          | 基金会計繰入金      | 2,000,000  | 2,000,000  | 0         |                 |
|              | 部活動後援積立金     | 500,000    | 500,000    | 0         |                 |
|              | 同窓会50周年記念積立金 | 0          | 0          | 0         |                 |
| 母校創立50周年協賛事業 |              | 5,998,128  | 5,500,000  | 498,128   | ことばの力・銅像台座他     |
| 予備費          |              | 0          | 500,000    | △ 500,000 |                 |
| 次年度繰越金・予備費   |              | 1,719,455  | 125,000    | 1,594,455 |                 |
| 合計           |              | 22,042,037 | 21,350,000 | 692,037   |                 |

| 支出の部         |              | 予 算 額      | 前年度予算額     | 比較増△減額      | 備 考           |
|--------------|--------------|------------|------------|-------------|---------------|
| 運営費          | 印刷費          | 100,000    | 100,000    | 0           |               |
|              | 通信運搬費        | 2,500,000  | 2,500,000  | 0           | 会報発送、振込料他     |
|              | 機器備品費        | 300,000    | 300,000    | 0           |               |
|              | 消耗品費         | 100,000    | 100,000    | 0           |               |
| 会議費          |              | 300,000    | 300,000    | 0           | 幹事会、本部役員会     |
| 事業費<br>(1)   | 会報出版費        | 1,000,000  | 1,200,000  | △ 200,000   |               |
|              | 名簿作成費        | 100,000    | 150,000    | △ 50,000    |               |
| 事業費<br>(2)   | 学園助成費        | 2,000,000  | 3,000,000  | △ 1,000,000 |               |
|              | 30年集いの会助成費   | 350,000    | 350,000    | 0           |               |
|              | 梅津杯助成費       | 0          | 300,000    | △ 300,000   |               |
|              | クラス会助成費      | 300,000    | 300,000    | 0           | 10,000×30 クラス |
|              | 補助費          | 800,000    | 800,000    | 0           | 文化祭・コンサート他    |
| 記念品費         |              | 2,000,000  | 2,500,000  | △ 500,000   | 卒業生記念品他       |
| 涉外費          | 涉外費          | 300,000    | 300,000    | 0           | なまず後援会他       |
|              | 広告費          | 200,000    | 200,000    | 0           | ケーブルTVCM他     |
| 福利厚生費        |              | 200,000    | 200,000    | 0           |               |
| 慶弔費          | 弔慰金          | 100,000    | 100,000    | 0           |               |
|              | 見舞金          | 20,000     | 20,000     | 0           |               |
|              | 通信費          | 5,000      | 5,000      | 0           |               |
| 積立金          | 基金会計繰入金      | 2,000,000  | 2,000,000  | 0           |               |
|              | 部活動後援積立金     | 500,000    | 500,000    | 0           |               |
|              | 同窓会50周年記念積立金 | 0          | 0          | 0           |               |
| 母校創立50周年協賛事業 |              | 0          | 5,500,000  | △ 5,500,000 |               |
| 予 備 費        |              | 300,000    | 500,000    | △ 200,000   |               |
| 次 年 度 繰 越 金  |              | 145,000    | 125,000    | 20,000      |               |
| 合 計          |              | 13,620,000 | 21,350,000 | △ 7,730,000 |               |

# 平成 26 年度 生徒募集

◆ご子弟が中学・高校の受験をお考えの方は、母校入試室にご相談ください。

## 高 校

### 学力診断テスト 国栢チャレンジ

**10月14日(月・祝)** 場所/本校キャンパス・教育センター（栃木駅前）  
 入試の雰囲気を体験しながら、あなたの学力到達度を客観的に判定する診断テストを実施します。  
 [判定] (1) 現在の学力（得点・順位等） (2) 本校の各コースへの合格可能性  
 [受験型] 5 教科型または 3 教科型選択 [受験料] 無料

### 入試説明会

**9月28日(土) 10月26日(土) 11月9日(土) 11月17日(日) 11月23日(土・祝) 11月24日(日)**  
 場所/本校キャンパス 時間/9:30～  
**12月14日(土) 12月22日(日)**  
 場所/学園教育センター（栃木駅前） 時間/9:30～



### 入学試験日

**1月6日(月)単願 1月7日(火)併願 2月1日(土)単願・併願**

## 中 学 校

### 入試説明会

**9月14日(土) 10月12日(土) 10月27日(日)**  
 場所/本校キャンパス 時間/10:00～  
**11月3日(日・祝)**  
 場所/学園教育センター（栃木駅前） 時間/10:00～

### 入学試験日

**12月1日(日)単願 12月8日(日)併願 1月19日(日)単願・併願**  
 (推薦入試・自己推薦入試・適性検査入試) (4科目入試・2科目入試) (4科目入試・2科目入試)



## 中学・高校同時開催

### 平日学校説明会

**6月5日(水)～12月18日(水)** 第1、3、5水曜日 **要予約** お電話にてお申し込みください。  
 場所/学園教育センター（栃木駅前） 時間/18:00～19:00 TEL0282-22-5511

### 1日体験学習 come on in 国学院

**8月4日(日) 8月18日(日)** 場所/本校キャンパス 時間/9:00～12:30  
 国学院栃木をまるごと体験！ 予約なしで参加できます。詳しくはチラシをご覧ください。

### 国学院祭【文化祭】

**9月7日(土)時間/9:30～16:00 9月8日(火)時間/9:00～15:30**  
 学校生活や入試についての相談も受け付けます。

**【体育祭】 9月21日(土) 時間/8:45～16:00 場所/本校キャンパス**

今後のさらなる発展を期待せずにはいられません。  
 す。 会も設立五十三周年、同窓会員の皆様の活躍もめざましく、在校生も先輩に継けと勉学に、部活動にと頑張っているようす。

## 編集後記

